

# みんなの声

1 opinion/idea/proposal/recommendation

花巻空港は岩手の中心地で利便性が良く、せっかく滑走路も長くしたのだから、海外への便を就航してほしい。例えばマニラ・ロサンゼルス便を就航してはどうか。

2005/7/8/電子メール

いわて花巻空港は、平成17年3月に2,500メートルの滑走路を供用開始しました。滑走路が延長されたことにより、国際チャーター便の運航先の多様化や冬季就航率の向上、また、離着陸時の安全性の向上が図られます。

国際線の就航については、本県としても、国際化の進展や県民の皆様の海外旅行ニーズを踏まえ、関係機関に対し積極的に働きかけを行っていきます。

なお、平成17年2月に、いわて花巻空港から中部国際空港（セントレア）への乗り入れが始まったことに伴い、マニラ等海外の一部の地域については、中部国際空港での当日乗り継ぎによる渡航が可能になりました。

3 opinion/idea/proposal/recommendation

岩手県の都市計画として、活気ある街（都市）を作るためには、人の集客が必要であり、車社会の現代においては、そのための駐車スペースを確保すべきである。都市づくりをする時には、このことを踏まえるべきものとする。

2005/7/15/ファクシミリ

都市計画では、円滑な道路交通を確保する等の観点から、駐車スペースの確保が必要と判断される場合、市町村が駐車場整備地区を指定します。この地区や商業地域等では一定規模の建築物の新築又は増築の場合、条例に基づき駐車施設を設けなければならないこととなっており、県内では4市が指定されています。

なお、「岩手県都市計画区域マスタープラン（平成16年5月岩手県策定）」では、これからの少子高齢社会を踏まえ、車に頼らず自転車やバスなどを使う「歩いて暮らせるまちづくり」を目指すべき方向の一つとしています。

今後、このマスタープランに基づき、各市町村が「市町村マスタープラン」の見直しや策定を行うこととなります。そのプロセスの中で、今回の御提言内容も含め、地域の将来像の議論に、住民の方々が主体的に関わっていただき、共通認識を持つことがまちづくりには重要であると考えています。

2 opinion/idea/proposal/recommendation

花巻空港新ターミナルビルの空調設備に、雪冷房を導入すれば岩手県環境に対する取り組みが評価されると考えます。

2005/7/28/電子メール

花巻空港新ターミナルビルの建設を行うターミナルビル（棟）は、コスト面の経済性を優先し、空調設備の熱源として井戸水熱源ヒートポンプのシステムを採用することにしています。

雪冷房は、二酸化炭素削減等の観点からは優れていると思われませんが、コストの観点からは、井戸水熱源ヒートポンプのシステムが、雪冷房の施設と比べてコンパクトであることから、経済性において有利と判断しました。

また、ターミナルビルは365日間稼働する施設であるため、維持管理の観点から実績があり、信頼性が高い井戸水熱源ヒートポンプの冷暖房システムを採用することとしました。

なお、井戸水熱源利用システムは、自然エネルギーとしての地下水熱を利用するものであり、環境面にも寄与するものです。

4 opinion/idea/proposal/recommendation

周囲の景観と異なる携帯電話の基地局があちらこちらに乱立していた。岩手県には景観条例があるので、県として景観的に指導してほしい。

2005/7/14/電子メール

県では、平成5年から「岩手の景観の保全と創造に関する条例」により、建築物や工作物について一定規模以上の工事を行う場合には、事前に届出を行うよう規定しています。

御提言の携帯電話の基地局アンテナ塔については、この条例により、高さ20m（岩手山麓・八幡平周辺景観形成重点地域及び平泉周辺景観形成重点地域内にあつては10m）を越えるものを対象として、大規模建築等行為景観形成基準に照らし審査・指導しています。